

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立揖斐高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月10日(木)～17日(木)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会 長	長沼 健治郎	揖斐高校同窓会長
副会長	鷺見 千恵子	揖斐高校PTA会長
委 員	折戸 朱美	揖斐厚生病院看護業務調整担当
	金森 佐知子	揖斐高校PTA幹事
	杉山 洋子	揖斐川町社会教育委員
	高橋 真紀	揖斐川町住民福祉部健康福祉課課長補佐
	服部 均	揖斐川町商工会会長
	堀尾 茂之	J Aいび川組合長
	保井 円	大和神社禰宜
	矢野 智	元揖斐郡小中校長会長
学校側	西脇 勝己	校長
	和田 摂子	教頭
	河田 禎彦	事務長
	井藤 恵理子	教務主任
	和田 真樹	生徒指導主事
	永井 幹雄	進路指導主事
	松岡 順	特別活動部長
	松野 早苗	生活環境科主任

5 会議の概要(協議事項)

<内容>○ 「三つの方針(スクール)・ポリシー」について

- 校則の改正又は廃止の手続きについて
- 学校体育施設の開放について
- 令和3年度自己評価について

<委員からの意見>

○ 令和3年度自己評価について

(教務)

意見1：生徒の実態をつかみ、生徒がわかる、できる喜びを味わえる授業をすることで、自ら学び、考え、行動する生徒に育つと思う。

意見2：連休課題を早めに配布することで生徒が早めに課題に取り組むことができる。

意見3：成年年齢が引き下げられることに伴い、学校での消費者教育の指導を充実してほしい。

(ICT活用)

意見1：コロナ禍で、ICTの活用、オンライン授業等の充実が図られている。全職員によるICT研修を継続し、教科指導に生かせる能力をさらに高めたい。

意見2：ICTを活用した授業を積極的に取り入れ、授業の改善への取組が積極的になされていることが理解できた。連携中学校でICTを活用した連携、授業交流が可能になるとよいと感じた。

(生徒指導)

意見1：コロナ禍で心に不安を抱えている生徒が多いことは理解できる。心のケアをお願いしたい。

意見2：いじめの訴えがなかったことはよかった。今後も心のアンケートなどでアンテナを高く張り、いじめ防止に努めてほしい。

意見3：いじめの訴えはなかったが、ネット社会でもあり、水面下の動きにも注意をはらってほしい。

意見4：情報モラル等の授業、啓発活動でトラブルや不幸な出来事に巻き込まれないよう指導をしてほしい。

意見5：スマートフォンを操作しながら自転車を運転していた生徒を見かけた。マナー指導の強化が必要だと思う。

(進路指導)

意見1：企業、進路ガイダンスの感想や、将来のビジョンを自ら語るができるようになるとうい。

意見2：進路説明会の中止は保護者にとって不安が大きい。進路決定は生徒の一生にかかわる問題なので、先生と保護者の対面での相談の時間を増やしてほしい。

意見3：生徒と保護者の満足度の差が気になる。分析し、問題点を洗い出し必要な対応をしてほしいが、保護者の見解が正しいとは限らないので、学校として方針を決めてほしい。

(デュアル実習)

意見1：「デュアル実習」をうける生徒が10名と、昨年に比べて多くなった点について評価できる。

意見2：「デュアル実習」を履修した10名のうち4名が内定したのはデュアル実習の成果だと思う。継続して取り組んでほしい。

(特別活動)

意見1：コロナ禍のため、ボランティア活動が中止となり、生徒の活躍の場が少なくなった。本校の良さを地域にアピールできないのが残念である。

意見2：ボランティア活動が「育てたい生徒像」に直結する。来年度期待したい。

意見3：体育祭、文化祭など中止や規模の縮小など限られた時間の中で積極的な参加、自主的な

活動を行うことで自ら考える力がついたのでないか。

(保健安全)

意見1：睡眠や食事、身体の大切さを生徒自らが考えられるようになるとよい。

意見2：歯科検診の受診率が低く、生徒保護者を含めたアプローチの方法を考えてほしい。期限を決めたり、個別に指導したりして、自らの健康にしっかりと目を向けさせたい。

(命を守る訓練)

意見1：危機管理教育について、特別活動部の課題にもあるように、ボランティア活動と結び付けられるとよい。

意見2：防災意識を高め、地域においても訓練に積極的に取り組める生徒に育てたい。

(渉外)

意見1：PTA役員が一同に集まることができず、活動もできず残念だった。何か生徒のために活動したいと考えている役員がほとんどなので、来年度は積極的に意見交換できるように働きかけたい。

意見2：PTA活動については、慣習にとらわれず柔軟で新しい組織作りと活動が求められると思う。

意見3：迅速で確実な連絡方法には、メールなどのデジタルによる情報提供が効果的だと考える。全保護者への確実な伝達に努めたい。

(図書館活動)

意見1：図書貸し出し数の増加はすばらしい。

意見2：本を読む生徒が他の高校より多いという実態について嬉しく思う。

(生活環境科・デザイン科)

意見1：本校の将来を担う重要な科だと思う。生徒の満足度が高いのは、教員の努力の賜物である。引き続き知恵を出し合い盛り上げてほしい。

意見2：地域との連携活動は達成感のみならず郷土を愛する心を育成する、なくてはならない活動である。

意見3：町内の事業所や施設における実習、ボランティア活動は、本校が大切にする教育活動である。今後もさらなる充実、継続を期待する。

意見4：商品開発、JAでの試食、販売など事前にもっと地域へのアピールができるとよい。生徒の頑張りを地域の人々に知ってもらいたい。

(学習成果発表会)

意見1：各科、各コースでの学びを自分の進路実現に繋げようと努力する生徒の姿が、学習成果発表会で多く見る事ができた。

意見2：学習成果発表会では、デュアル実習の生徒が社会人基礎力に気付き、しっかり発表できていたと感心した。

意見3：学習成果発表会を見学した中学生が感動したと言っていた。

(1年生)

意見1：エアコンやICT機器など、学習しやすい恵まれた環境が整っている。

意見2：揖斐Basicによる基礎の学びなおしはよい取組である。継続してほしい。

意見3：現在の制服をきちんと着こなしているのに、地域の人々の評判もいいのではないかと。

意見4：充実した学校生活を送らせるためにも、将来の夢や目標を1年生のうちから明確にさせたい。

意見5：基本的な生活、学習習慣を身に付けさせることに主眼を置いた方針と取組に大いに賛成する。難しい状況が続くが、頑張ってもらいたい。

(2年生)

意見1：学校からの連絡文書などが保護者の手元に届いていないというのをよく聞く。HPに掲載するだけでなく、メール配信システムを使用してはどうか。保護者が参加する学校行事があるということを保護者に知ってもらえるのではないかと。

意見2：将来の自分の姿や、卒業時の自分の姿をイメージさせ、自ら進んで生活改善や進路決定に取り組める生徒、学年集団を育てたい。

意見3：1年時の指導が生き、全体として将来を見据えた活動ができているという印象である。

(3年生)

意見1：学習成果発表会を通して生徒の頑張り、教員の指導の成果をみる事ができた。連携校以外の中学校や地域の人に本校の取組を知ってほしい。

意見2：育てたい生徒像の具現化を目指してさらなる継続指導をしてほしい。

意見3：どの学年であっても、生徒との関わりを密にし、社会人基礎力、将来のキャリアアンカーを自らが考えられる取組をしてほしい。

6 会議のまとめ

第3回目の学校運営協議会、評価委員会はオミクロン株感染拡大のため、校内での実施を断念し、書面で開催した。第2回学校運営協議会で提案中であった3つの協議事項については全員から承認を得ることができた。また評価委員会の資料をもとに多くの意見が寄せられた。来年度の授業改善、学校行事など企画・運営に役立てていきたい。